

だんごむし みつけたよ

作成日 令和3年6月22日

○保育のねらい ・梅雨期の自然や小動物に興味をもち、見たり、触れたりする。

対象児 4歳児
作成者 山川真紀

見つけた



○振り返り

さくら組の子どもたちは、最近、ダンゴムシに興味をもって、ダンゴムシ探しをよくしています。ダンゴムシを見つけて、友達に「ここにおったよ 見てー」「捕まえたよ」「触ったら、丸くなったよ」と子ども同士の会話もよく聞かれます。この間は、「ダンゴムシに黄色い点々があつたら、メスじゃって、おじいちゃんがよかったよ」「おなかの白いのもメスなんだって！」と自分が知っていることを友達や保育者に話す姿も聞かれ、「〇〇君、よう知つとるなあ。ダンゴムシの博士じゃなあ」と友達の凄さを認める周りの友達の姿の一面もありました。そして、ダンゴムシに関する本や図鑑などを保育室に置いて、いつでも、手に取って、見れるようにしたり、紙芝居や絵本を読んだりしました。そうすることで、また、友達同士で、「ダンゴムシ おるかなあ？」とダンゴムシが居そうなところを探してみたり、「触ってまるくならんかったら、ワラジムシなんで」と図鑑や本、友達の話を聞いたことや知識を伝え合い、触って確認する様子も見られ、より一層、ダンゴムシに愛着をもつ姿が見られてきました。実際に、目でみて、触れて、学んだことを活かしてみる子どもたちの姿は生き生きとしていると感じました。これからも子どもたちと自然の移り変わりを味わったり、身近なものに触れあっていく実体験を大切にしていき、子ども達のつぶやきに耳を傾けていきたいと思ひます。(自然との関わり・生命尊重・言葉による伝え合い・思考力の芽生え)